

日 時 : 2012 年 12 月 13 日(水) 13:00 ~ 17:00

場 所 : 塗料報知新聞社 会議室

出席者 : 窪井要((有)久保井塗装工業所)、内山貴識(東和酵素(株))、高橋大(株三王)、
早川政男(第一塗装工業(株))、石塚(同)、小泉栄(株)小泉塗装工業所)、島田哲也(旭サナック(株))、
藤井俊治(株三菱化学テクノロジー)
幹事: 平野克己(日本塗装機械工業会)、福田良介(日本パウダーコーティング協同組合)
アドバイザー: 坂井秀也(坂井技術士事務所)
オブザーバー: 田村吉宣(いすゞ自動車(株))、魚谷英未(日本ワコン(株))、
大月明利(株稲葉製作所)
ゲスト: 田口知孝(埼玉県環境部大気環境課)、井ヶ田幸生(同)、仁科涼(明治大学学生)
事務局: 有馬弘純(塗料報知新聞社)

18 名 敬称略

***** 議 題 *****

1. 埼玉県環境部の VOC 対策事例集紹介

埼玉県環境部から「VOC 対策事例集」を作成するにあたり、ヒアリングのため2名が参加。

各省庁や各自治体から公表されている、これまでの資料をもとに同部が収集する。その後、整理・分類において協議会が関わることにした。作業工程別(洗浄、前処理、塗装～)に整理・分類するのがわかりやすいものになる。

これまで個別に対応していたが、まとまったものとしてつくる機会にした方が良いとアドバイスした。また、産業環境管理協会のネットワークを活用すると全国レベルで収集できると伝えた。

平成 24 年度中に(2013 年 3 月)作成を希望している。

坂井先生からは、県内での調査分析が優先であり、協議会で「現場活用の VOC 改善」などをまとめあげるのも今後の課題であるとのコメントがあった。

2. 2012 年度における環境技術分科会の活動スケジュール

前回(10/24)、4 つに分類した<塗装の地位向上><サポインの横展開><根本的な環境対策><塗装の生き残り策>について、各担当者が整理した具体策(内容、スケジュール…)を発表。

来年から 3 年先あたりのロードマップづくりの方向を確認した。

なお、全体調整・とりまとめ役を坂井先生にお願いしている。

(1) 塗装の地位向上<高橋><小泉><小柳>

産業分類と行政の国への働きかけとマスコミと地域の民への働きかけの 2 方向に分けて、具体的につめていく。経産省化学課との調整のうえ、総務省への働きかけをする。

19 年産業分類の見直しを終了しているならば、次回に間に合うように進める。名称について“工業”がつくものを国が認めてくれるか？

後継者育成において、工業塗装系の学科をつくってもらうのが社会的に評価されるのでないか。建築系ではものづくり大学がある。

株さくらのノートは、地元で働く大人たちの地元で学ぶ君たちへの応援メッセージを行っている。工業塗装のイベントの日/見学会など催すのはどうか。

「塗装は汚ない」のイメージを払拭し、子どもがみて素晴らしいと思われるように

(2) サポインの横展開<窪井><木下>

地道な活動を続ける

啓発活動には資金が必要。特に会員増強効果が出ている日本工塗連からの会員拡充資金の支援が基本であり、予算獲得が第一といえる。実務的に事後処理となるのならば、仮払金計上も検討に加える。

次年度以降のサポインテーマを継続させるため、現地開催の掘り起こしから各地方経産局の協力を得る一方、ネットでの相談窓口開設も考慮したい。

(3) 根本的な環境対策・対応<早川><内山><藤井>

塗料スラッジの燃料用ペレット化はタイムリーなテーマである。課題である塗料かすの収集や固形化処理方法などの調査分析と実現化へのシフト体制整備などを日本工塗連で検討する必要がある。

(4) 塗装の生き残り策<平野><島田><杉山><福田>

海外、異業種、周辺から新技術の収集を調査。

塗装ラインの課題から絞り込み、業界への構造上・素材上のアドバイスに繋がる要素の模索。

自動車・鋼製家具メーカーなどとネットワークの形成。

学研部門の参画。

情報収集と実用化実験など、海外や異分野での新技術を業界に周知活用させるところが鍵。画期的でユニークな塗膜づくりを生み出す。

大分類	中テーマ	個別案	内容
塗装の社会的評価	産業分類への登録 (行政への働きかけ)	A.経済産業省/環境省/厚労省へ陳情	
	地域・社会への アピール	B.地域における見学会 C.塗装の中身・安全性をアピール D.塗膜を形成する「メーカー」の意識	
	マスコミ対策 (具体アピール)	E.コートマンの活用 F.一般誌へのアピール	
	後継者育成	G.国が育成する産業との関わり	
サポインの横展開	啓発活動	セミナー 小冊子・パンフ	
	革新技術		
環境対策	VOC	業界ネットワーク	低 VOC 塗料開発・試験-日塗工 評価:第一塗装工業所にて
		塗装方法	ナイトロサーモスプレシステムのトライ:第一塗装
	産廃	塗料滓のリサイクル (ペレット化)	廃塗料のペレット化とペレットの燃料向け開発
	大気全般	CO2 削減	小泉塗装で実証・ガイドライン製作
電力使用量		ガントリーと排気ファン連動方式の実証 ファンモーター内洗浄による抵抗削減による電力削減	
塗装の生き残り策	塗装の現場での問題	ユーザー課題への挑戦	
	独自の塗装		
	海外技術	欧米の先進技術情報	
	新技術、周辺技術		

3. 自動車塗装ラインにおける VOC、CO₂ 削減の最新事情

いすゞ自動車の田村氏から、2011 年に CEMA シンポジウムでの発表「自動車塗装ラインにおける VOC、CO₂ 削減の最新事情」について紹介。

所属する日本塗装技術協会が来年 50 周年を迎えるにあたり、現在企画を練っているとあり、協議会との活動において連動することも考えられると話があった。

4. SURTECH2013出展

SURTECH2013は1月30日から3日間、東京ビッグサイトで開催。
VOC対策表彰状などの展示や名刺裏の紹介文などを紹介する案を討議。
展示ブースは、CEMAと塗料報知新聞社の2小間を用意している。

5. 次回分科会開催予定

第45回環境技術分科会 2013年2月21日(木) 13時～17時 塗料報知新聞社 会議室

————— 以 上 —————